

科学者委員会（第23期・第15回）議事要旨

- 1 日 時 平成27年10月2日（金）16時30分～17時40分
- 2 場 所 日本学術会議 第5-B会議室（5階）
- 3 出席者 向井千秋委員長、長野哲雄副委員長、小森田秋夫幹事、土井美和子幹事
（第一部）山川充夫委員、久留島典子委員
（第二部）大杉立委員、古谷野潔委員、森正樹委員
（第三部）氷見山幸夫委員、萩原一郎委員
- 4 配布資料
○資料1 科学者委員会第10回議事要旨案
○資料2 第22期・第23期における科学者委員会各分科会の開催状況
○資料3 提案「地区会議運営協議会委員の交代について」
○資料4 協力学術研究団体の指定について
○資料5 協力学術研究団体の実態調査について（経過報告）
○資料6 提言「今後の高等学校理科教育のあり方」（案）
- 5 議題
 - （1）議事要旨の確認
 - ・前回（6月26日（金））開催の第10回議事要旨案について、「内閣府からの審議依頼に対する回答への対応について」の依頼内容を明確にすべく「男女共同参画基本計画策定に当たっての審議依頼に対する回答への対応について」へ修正するよう意見があった。
 - （2）科学者委員会の今後の運営について
 - ・学術体制分科会は、氷見山先生が世話人となり、開催に向け取組を検討することになった。
 - ・オープンサイエンスの取組に関する検討委員会ではデータアーカイブに関して議論しており、学術誌問題検討分科会が扱う学術誌の問題は議論していないとの意見があった。
 - ・本来は、常設委員会において議論を行い、個別議題はアドホックな議論をする委員会が設立されるが、現状は、アドホックな議論をする委員会が開催され、常設委員会が開催されていない状況にある。徐々に本来的な姿に戻していくべきとの意見があった。
 - ・分科会の構成については、今期はとりあえず現在のままとし、今後の様子を見て問題があれば再検討することとされた。
 - （3）中国・四国地区運営協議会委員の追加について
 - ・委員長から説明があり、特段の意見等なく了承された。
 - （4）協力学術研究団体の指定について
 - ・申請から審議議決までに1年以上を要していることについて確認があり、事務局から、申請資料の差し替え等の提出に時間を要しているためとの説明を

行った。

- ・審査票は、「適」、「不適」だけではなく、「保留」も追加すべきとの意見があり、事務局において案を作成し、委員会に諮ることになった。
- ・定款の公表、他の団体との識別確保を指定の条件とすべきとの意見があり、引き続き検討することになった。

(5) 協力学術研究団体の実態調査について

- ・事務局から、実態調査のシステム開発が遅延したため、調査実施が遅れているとの経過報告を行った。

(6) 提言「今後の高等学校理科教育のあり方」について

- ・広報・科学力増進分科会は、「科学者委員会」と「科学と社会委員会」とが親委員会となっているが、機能別委員会において親委員会が複数ある場合の査読手続が決まっていないことから、10月15日（木）開催予定の四役会議で相談することになった。

(7) その他

- ・次回は、来年4月に開催予定。

以上